

[参考] 先月からの主要変更点

	1 月月例	2 月月例
基調判断	<p>景気は、設備投資と輸出に支えられ、着実に回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出、生産ともに増加している。</li> <li>・企業収益は改善が続いている。設備投資は増加している。</li> <li>・個人消費は、持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・雇用情勢は、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。</li> </ul> <p>先行きについては、世界経済が回復する中で、日本の景気回復が続くと見込まれる。一方、為替レートなどの動向には留意する必要がある。</p>	<p>景気は、設備投資と輸出に支えられ、着実に回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出、生産ともに増加している。</li> <li>・企業収益は改善が続いている。設備投資は増加している。</li> <li>・個人消費は、持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・雇用情勢は、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。</li> </ul> <p>先行きについては、世界経済が回復する中で、日本の景気回復が続くと見込まれる。一方、為替レートなどの動向には留意する必要がある。</p>
政策態度	<p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2003」の早期具体化により、構造改革の一層の強化を図る。1月19日に、「平成 16 年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」及び「構造改革と経済財政の中期展望 - 2003 年度改定」を閣議決定し、平成 16 年度予算案を国会に提出した。</p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>	<p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2003」の早期具体化により、構造改革の一層の強化を図る。<u>構造改革を推進する中で、平成 16 年度予算及び関連法案の早期成立に努める。</u></p> <p><u>日本銀行は、1月20日、日本銀行当座預金残高の目標値を引き上げ、30～35兆円程度とすること等を決定した。</u>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>

各論

	1 月月例	2 月月例
倒産	減少している。	<u>これまで減少が続いてきたが、このところ横ばいとなっている。</u>
雇用	完全失業率が高水準で推移し、雇用者数がこのところ弱含むなど、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。	完全失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。
国内企業物価	<u>横ばいとなっている。</u>	<u>素材価格の上昇によりこのところわずかながら上昇している。</u>

(注) 下線部は、先月から変更した部分。